

徳島県子どもの読書活動推進協議会

令和7年度 第2回協議会 資料集

議題① 子どもの読書活動推進のための取組について

- ・資料1 徳島県子どもの読書活動推進計画（第5次推進計画）
成果指標について 1
- ・資料2 読書活動推進のための取組報告 **令和6年度結果** . . . 2

議題② 子どもの読書活動推進に関する事業の進捗状況について

- ・資料3 令和7年度「未来につなぐ読書推進事業」報告 4
 - （1）高校生の読み聞かせボランティア養成講座
 - （2）図書館サポーター養成講座
 - （3）街角ライブラリー
 - （4）徳島県中学生・高校生「書評合戦」
- ・資料4 「読書バリアフリー推進事業」について 10

議題③ 「徳島県子どもの読書活動推進」についての情報交換

- ・別添資料 ・「地域拠点における読書環境形成の実践報告
一鮎喰川コモンの事例一」

資料1

徳島県子ども読書活動推進計画（第5次推進計画）
成果指標（令和7年12月末までの実績）

| 基本方針 | 推進項目 | 成果指標 | 指標の概要 | 現状値 R5年度 | 目標値 R10年度 | 実績 | | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|--|--|------------------|------------------|---|---|------|------|-------|
| | | | | | | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 |
| I 子どもの読書習慣の形成に向けた取組の促進 | 1 発達段階に応じた取組の充実 | 子どもの読書活動推進のための多様な取組を行っている学校の割合 | 子どもの読書活動推進のための取組を3つ以上行っている学校の割合 | 公立学校 93.9% | 公立学校 100% | 95.8% | 来年度判明 (R8.3月調査予定のため) | | | |
| | 2 学校図書館・図書室を中心とした読書活動の充実 | 公立小・中学校の学校司書の配置状況 | 公立小・中学校(市町村立)における学校司書を配置する市町村数 | 2市1町 (全24市町村) | 6市町村 以上 | 2市1町 ※今後、設置を検討している市町村あり | 2市1町 ※今後、設置を検討している市町村あり | | | |
| II 子どもの視座に立った読書活動の充実 | 1 子どもの自発的な読書活動の支援 | 読書活動推進のため、児童・生徒の意見やアイデアを生かした取組の実施 | 学校図書館(図書室)の活用促進で、読書活動推進のために児童・生徒の意見を聞く機会を作っている。 | 81.10% | 100% | 99.2% | 来年度判明 (R8.3月調査予定のため) | | | |
| | 2 子どもの読書への関心を高める取組 | 読書活動推進に関するイベント参加数 | 県教育委員会、県立図書館主催の読書の関心を高めるイベント参加数の累計 | 3,744人 (4年間) | 10,000人 (5年間) | 3,124人 高校教育課主催93 ・ピリオドバトル90 県立図書館主催2471 ・赤ちゃんと楽しむおはなし会66 ・ポラニアによるおはなし会488 ・インターンシップ19 ・遠足1537 ・イベント(行事)351 生涯学習課主催560 ・POPコンテスト24 ・ブックキャンプ36 | 5,487人* 高校教育課主催90 ・ピリオドバトル90 県立図書館主催1634 ・赤ちゃんと楽しむおはなし会34 ・ポラニアによるおはなし会343 ・インターンシップ10 ・遠足1052 ・イベント(行事)199 生涯学習課主催639 ・POPコンテスト639 | | | |
| III 子どもを支える読書環境の整備と連携体制の構築 | 1 子どもの読書活動を支えるための図書館の整備と連携の促進 | 県立図書館における児童・生徒向け電子書籍、読み上げ機能付き電子書籍の所蔵点数 | 児童・生徒向け電子書籍タイトル数 読み上げ機能付きタイトル数 (オーディオブックタイトル数) | 2,069 | 2,800 | 2,445 | 2,501 | | | |
| | 2 地域における子ども読書活動を支える連携体制の構築 | 地域における子ども読書活動を支える人材の育成 | 県教育委員会主催の読書推進を担う人材育成に関する講座の受講者数の累計 | 833 (46) | 2,300 (200) | 1,415 (60) | 1,574 | | | |
| | | | | 112人 (4年間) | 250人 (5年間) | 67人 図書館サポーター養成講座31 ・高校生の読み聞かせ養成講座36 | 109人* 図書館サポーター養成講座16 ・高校生の読み聞かせ養成講座26 | | | |

* 累計

徳島県子どもの読書活動推進計画 〈第 5 次推進計画〉
読書活動推進のための取組報告 **令和 6 年度結果**

◇ 回答期間
令和 7 年 1 月 2 7 日 (月) から
令和 7 年 2 月 1 4 日 (金) まで

◇ 回答項目【令和 6 年度の取組について】

問 A 子どもの読書活動推進のために多様な取組を行っていますか。
下記の①～⑪から該当するものすべてを選び、お答えください。

- ① 学校や学級でのブックリストや推薦図書一覧の作成・学級文庫の設置、オスレの本の紹介等
- ② 図書委員会による特色ある活動（イベントの実施や図書館環境整備等）
- ③ 新聞スクラップ作成や新聞づくり、新聞の読み比べや授業での新聞活用等
- ④ 家庭への読書啓発（家庭読書の日の設定や家庭での読み聞かせの実施、読書活動の推進等）
- ⑤ 多様な読書活動の実施（一斉読書・朝の読書・読書会・ブックトーク・ビブリオバトル・味見読書等）
- ⑥ 読み聞かせボランティア、地域人材等の活用
- ⑦ 学校図書館等への新聞配置
- ⑧ 公立図書館・図書館職員との連携・協力
- ⑨ POP コンテストやビブリオバトル等の各種大会・コンクール、イベントや講習会等への参加
- ⑩ 多様な子どもたちの読書機会の確保（読書バリアフリー等）
- ⑪ 読書への関心を高める取組（多読賞の表彰や電子書籍の利用促進等）

結果 **【上記の①～⑪について、3つ以上行っている学校の割合】** ↓ 1 分校除く

| 小学校 (1 分校除く) | 中学校 (2 分校除く) | 県立学校 (全日制) | 全体 |
|--------------------------------|----------------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 1 5 8 / 1 5 9 (9 9 . 4 %) | 6 8 / 7 4 (9 1 . 9 %) | 2 8 / 3 2 (8 7 . 5 %) | 2 5 4 / 2 6 5 (9 5 . 8 %) |

[R 5 : 9 3 . 9 %]

問 B 読書活動推進のため、児童・生徒の意見やアイデアを生かした取組を実施していますか。下記の①～⑤から該当するものすべてを選び、お答えください。

- ① 児童・生徒の意見を反映させた図書の展示やイベント等の実施
- ② 児童・生徒による本の紹介や読み聞かせ等の実施
- ③ 図書委員による「図書館だより」の発行やブックリスト、POP等の作成
- ④ 図書委員による貸出や環境整備等の実施
- ⑤ 新しい図書購入の選書会・アンケート等の実施

結果 **【上記の①～⑤について、1つ以上行っている学校の割合】** ↓ 1 分校除く

| 小学校 (1 分校除く) | 中学校 (2 分校除く) | 県立学校 (全日制) | 全体 |
|--------------------------------|--------------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 1 5 8 / 1 5 9 (9 9 . 4 %) | 7 4 / 7 4 (1 0 0 %) | 3 1 / 3 2 (9 6 . 9 %) | 2 6 3 / 2 6 5 (9 9 . 2 %) |

[R 5 : 8 1 . 1 %]

徳島県子どもの読書活動推進計画(第5次推進計画) 読書活動推進のための取組報告

令和6年度実績調査

| ○読書活動推進のための取組について | 小学校 (159校) | | 中学校 (74校) | | 高等学校 (39校) | |
|--|------------|-----|-----------|----|------------|----|
| ① 学校や学級でのブックリストや推薦図書一覧の作成・学級文庫の設置、オススメの本の紹介等 | 92.5% | 147 | 95.9% | 71 | 76.9% | 30 |
| ② 図書委員会による特色ある活動(イベントの実施や図書館環境整備等) | 87.4% | 139 | 66.2% | 49 | 51.3% | 20 |
| ③ 新聞スクラップ作成や新聞づくり、新聞の読み比べや授業での新聞活用等 | 61.6% | 98 | 41.9% | 31 | 48.7% | 19 |
| ④ 家庭への読書啓発(家庭読書の日の設定や家庭での読み聞かせの実施、読書活動の推進等) | 61.0% | 97 | 10.8% | 8 | 17.9% | 7 |
| ⑤ 多様な読書活動の実施(一斉読書・朝の読書・読書会・ブックトーク・ビブリオバトル・味見読書等) | 83.6% | 133 | 83.8% | 62 | 51.3% | 20 |
| ⑥ 読み聞かせボランティア、地域人材等の活用 | 86.8% | 138 | 47.3% | 35 | 2.6% | 1 |
| ⑦ 学校図書館等への新聞配置 | 68.8% | 109 | 51.4% | 38 | 76.9% | 30 |
| ⑧ 公立図書館・図書館職員との連携・協力 | 64.2% | 102 | 27.0% | 20 | 74.4% | 29 |
| ⑨ POPコンテストやビブリオバトル等の各種大会・コンクール、イベントや講習会等への参加 | 9.4% | 15 | 20.3% | 15 | 48.7% | 19 |
| ⑩ 多様な子どもたちの読書機会の確保(読書バリアフリー等) | 19.5% | 31 | 9.5% | 7 | 15.4% | 6 |
| ⑪ 読書への関心を高める取組(多読賞の表彰や電子書籍の利用促進等) | 10.1% | 116 | 27.0% | 20 | 41.0% | 16 |

| ○児童・生徒の意見やアイデアを生かした取組について | 小学校 (159校) | | 中学校 (74校) | | 高等学校 (39校) | |
|------------------------------------|------------|-----|-----------|----|------------|----|
| ① 児童・生徒の意見を反映させた図書の展示やイベント等の実施 | 69.2% | 110 | 43.2% | 32 | 51.3% | 20 |
| ② 児童・生徒による本の紹介や読み聞かせ等の実施 | 85.5% | 136 | 50.0% | 37 | 53.8% | 21 |
| ③ 図書委員による「図書だより」の発行やブックリスト、POP等の作成 | 35.8% | 57 | 40.5% | 30 | 56.4% | 22 |
| ④ 図書委員による貸出や環境整備等の実施 | 84.3% | 134 | 85.1% | 63 | 38.5% | 15 |
| ⑤ 新しい図書購入の選書会・アンケート等の実施 | 49.1% | 78 | 63.5% | 47 | 46.2% | 18 |

資料3 令和7年度「未来につなぐ読書推進事業」報告

(1) 高校生の読み聞かせボランティア養成講座

1 目的

公立図書館館長や大学教授、県内の読書団体を講師に迎え、「読み聞かせ」に必要な基本的知識や技術、「ボランティア活動の意義」について学ぶ。その後、学びの実践の場として、子ども食堂等において、読み聞かせボランティアとしての活動を展開する。

2 日時・場所・講師

【第1回・第2回】

日時：令和7年8月8日（金）・21日（木）13:20～16:30

場所：とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター）アミコビル9階 大会議室
（徳島市寺島本町西1-5 TEL:088-625-3582）

講師：第1回 徳島市立図書館 館長 廣澤 貴理子 氏

第2回 徳島文理大学短期大学部 教授 児嶋 輝美 氏

とくしまお話を語る会 代表 中 洋子 氏（他7名）

【第3回】

日時：令和8年1月24日（土）9:30～12:00

場所：クレエール子ども食堂（徳島市万代町5丁目71-4）

3 参加生徒

【第1回・第2回】 高等学校の生徒 26名（10校）

【第3回】 高等学校の生徒 5名（3校）

4 講座の様子



・班の名前をみんなで考えて発表



・『そしたら そしたら』で
オノマトペを考えてよみあい



・表紙等から絵本のストーリーを想像



・『すてきなあまやどり』で記念撮影



・班ごとにアニメーションを考えて発表



・次回の実践に向けての絵本選択



・ボランティア活動の意義について



・音楽に合ながら読み聞かせ



・お気に入りの1冊で読み聞かせ実演

【実践会】



・『すてきなあまやどり』は
子どもも大人も一緒に



・大型絵本の読み聞かせ



・『のはらうた』えほんクイズ

※生徒のアンケートより

講座に参加したきっかけ

- ・夏休み中に何か自分のものになるものを学んだり、いろんなことを体験したいと思い、大好きな本に関わる講座があると知り、参加したいと思ったから。
- ・絵本の良さを詳しく知りたいと思ったから。
- ・幼い頃図書館の読み聞かせに通っていた。地元の図書館にボランティア募集のチラシがあって、参加してみたいけれど自信がなかったため。
- ・進もうと思っている大学の学部が児童学科で、将来幼稚園の先生になりたいと思っているので、大学に入る前に少しでも多く学びたいなどおもしろい参加しました。あと、小説や絵本が大好きなので参加しました。

第1回・第2回講座の感想

- ・アニメーションを初めて実践し、絵本の楽しさを改めて感じた。また、子どもたちに楽しんでもらう工夫を考えるのもすごく楽しかった。
- ・絵本のことを深く知れてとても興味深かった。それに、絵本の仕組みがたくさんあって面白かった。
- ・パンの本の手遊びはリズム感、記憶力が鍛えられて面白かった。
- ・「絵本を子どもたちとのコミュニケーションツールとして使う」という言葉が印象に残った。一緒に読み合うことの大切さを学んだ。
- ・ページをめくることが上手くできなかつたけど、アドバイスを頂いて次は上手くできるかなと思った。
- ・本の持ち方や立ち方や読み方まで全て教えてくださってすごく勉強になりました。
- ・懐かしい絵本がたくさんあったのしかた。読んでもらった絵本、読んだ絵本はいつまでもおぼえているものだと言った。絵本の読み聞かせの技術が身についた。
- ・聞く側に回ることがほとんど無かつたため、久しぶりで、本当に楽しかったです。講師の方も仰っていましたが、読んでもらう嬉しさを再確認できました。

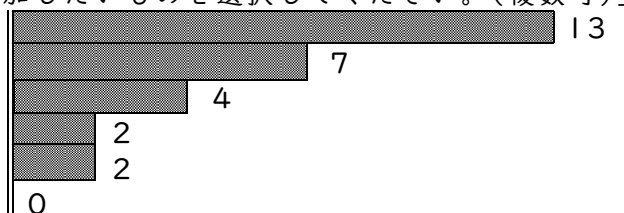
第3回（実践会）の感想

- ・思っていたより子どもの参加人数が少なくて、絵本のアニメーションがどうなるのか不安があったけれど、大人の方も快く参加してくださり、楽しく読み聞かせすることができました。緊張で読むスピードが早くなつてしまつたり、噛むことが多かつたりしたことは少し後悔です。また、読み聞かせする機会があれば夏の講習会のことや今回の読み聞かせの実践を活かし、今回以上のすばらしい読み聞かせをしたいなど思いました。
- ・上手くいくか不安だったが、子供たちが楽しんでくれたようで嬉しかった。もう少しみんなに見えるようにマイクの立ち回りを工夫したら良かったとか、最初の説明だとか、反省するところは多くあるが、成功して良かった。この経験を将来教師になったときに活かしていきたい。

参加したい読書イベント・講習会

[Q 読書に関する講習会やイベントで、参加したいものを選択してください。(複数可)]

- ・子ども食堂等での読書イベントや企画
- ・図書館司書の体験
- ・朗読の講習会
- ・小説の書き方講習
- ・POPコンテスト
- ・ビブリオバトル



(2) 図書館サポーター養成講座

1 目的

学校図書館業務や子どもの読書活動推進に関する知識と技術を身につけた人材を育成し、学校や地域における子どもの読書環境の充実を図る。

養成した図書館サポーターが、各市町村の図書館サポーターやスクールサポートスタッフ、地域学校協働活動の支援員として活躍し、学校での居場所づくりに課題を感じている子どもに読書の機会をもたらすことを想定している。

2 講座内容

期間：全7日間（講義6日・実習1日）

場所：徳島県立総合教育センター（大研修室、研修室2）

徳島県立障がい者交流プラザ（研修室）【第3回】

実習協力校（鳴門市撫養小学校、鳴門市林崎小学校）

受講者：16名

修了者：14名（令和2年度～令和6年度まで141名）

<内訳>阿南市4、板野郡3、徳島市2、鳴門市2、三好郡1、海部郡1、美馬市1

令和7年度の開催日・講座内容

| | | | | |
|-----|--------------|---------------------------------|-------------------------------|--|
| 第1回 | 7/12(土) | ①学校図書館の制度と理念 ～なぜ学校に図書館が必要なのか | ②学校図書館の機能と 役割 | ①②四国大学准教授 杉山 悦子先生 |
| 第2回 | 8/2(土) | ③中学生の発達と読書 | ④学校図書館の運営と図 書館サポーターの仕事 | ③ 上勝町立上勝中学校長 大井 育代先生 ④ 鳴門市学校図書館サポーター 恵美 純子先生/鳴門市学校図書館サポーター |
| 第3回 | 9/6(土) | ⑤特別な教育的支援を必要と する児童生徒の理解と支援 | ⑥視聴覚障がい等のある 児童生徒の読書支援 | ⑤ 徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課班長 坂口 純子先生 ⑥ 視聴覚障がい者支援センター支援員 |
| 第4回 | 9/27(土) | ⑦子どもの発達と読書 ～小学生を中心に | ⑧読書の広がりと深まり ～小学校の事例から | ⑦⑧徳島新聞NIEコーディネーター 野口 幸司先生 |
| 第5回 | 9月下旬～ 10月 | ⑨小・中学校図書館の見学・体験 | | ⑨ 鳴門市学校図書館サポーター |
| 第6回 | 10/25(土) | ⑩図書館整備の方法と実際 | ⑪学習・情報センター としての学校図書館 | ⑩⑪鳴門市学校図書館サポーター 恵美 純子先生/鳴門市学校図書館サポーター |
| 第7回 | 11/29(土) | ⑫児童生徒が活き活きとする 学校図書館づくり | ⑬児童生徒と本をつなぐ読 書のアニメーションの可能性 | ⑫⑬徳島市立図書館館長 廣澤 貴理子先生 |

3 講座の様子



・中学生の発達と読書



・視聴覚障がい者支援センター見学



・読書の広がりや深まり



・林崎小学校での実習



・ブックコートフィルム貼付け体験



・イメージ・コラージュの進め方

※受講生の感想より

- ・全7回の養成講座を通して、学校図書館が「本を置く場所」ではなく、子どもたちの学びを支え、心を育て、未来につながる力をはぐくむ場であるということ深く理解することができた。「子どもたちと本をつなぐ」という図書館サポーターの役割の意味が、はっきりと自分の中に形になった。図書館は、子どもたちの学び・感性・人間関係など、あらゆる成長を支えるとても大切な場所であり、その環境づくりに関わることの責任とやりがいを感じた。今回学んだことを活かして、子どもたちが「図書館って楽しい」「また来たい」と思える場所づくりに関わっていききたい。
- ・視聴覚障がい者支援センターを初めて訪れましたので、様々な場所を見学させていただけてよかったです。また、デイジー図書など、読書をサポートする機械などを実際に見たり触ったりすることができ、どのような物なのか理解しやすかったです。
- ・発達に合わせた読書をするすることで、より子どもが読書に興味を持ってもらえるということ、そして伝える力を身につけることの必要性を感じることができました。
- ・学校図書館の作り方を学び、読書推進を目指した環境の設定方法や学習センターとして活用されるための工夫を知ることができた。また、情報センターとしての役割を持つことを知り、学校司書は地域の情報や繋がりを持っておくことも必要だと感じた。
- ・実際に、図書館サポーターとして働いている方々からお話を聴くことができ、図書館サポーターの取り組みがよくわかりました。児童に対して、本を読んでほしいという気持ち、取り組みが、素敵だと思いました。

(3) 街角ライブラリー

1 目的

子ども食堂や街中の飲食店内に「街角ライブラリー」を設置し、寄贈本を循環させ、人と本とをつなぐ仕組みを構築するとともに、貧困等の課題を抱える子どもの主体的な読書活動の支援を行う。

2 活動内容

委託先：NPO任意団体「まちライブラリー・ビブリオラボとくしま」
(代表：徳島大学 依岡隆児教授)

- 内容：①子ども食堂に寄贈本を配本（令和7年度はクレエール、ウッドアイビス）
②子どもたちにすすめる本のPOPコンテスト
③大学生・高校生がすすめるブックリスト作成
④全国ビブリオバトル予選
⑤ブックナイトマーケット徳島への出展

子どもたちにすすめる本のPOPコンテスト

- ・募集期間 令和7年9月5日（金）～10月27日（月）
- ・募集対象 中学校・中等教育学校・高等学校特別支援学校
(中等部・高等部)の生徒、大学生
- ・応募総数 639点
(中学3校95点、高校9校517点、大学2校27点)
- ・審査結果 優秀賞3点、特別賞6点、子ども食堂賞2点、入賞26点
(計37点)



【授賞式】

- 日時：令和8年2月7日（土）13:00～14:30
場所：クレエール子ども食堂(出席者：受賞者16名、引率7名 計23名)
次第：(1)開会のあいさつ
(2)賞状授与
(3)読書交流イベント
・自分のPOP作品の紹介
・みんなで本の木（ブックツリー）を作ろう！
(4)記念撮影
(5)閉会のあいさつ

※授賞式の様子



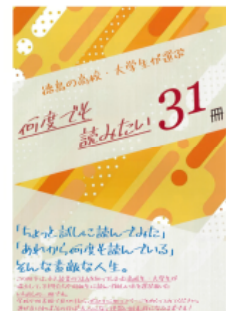
※優秀賞



高校生・大学生によるブックリスト作成プロジェクト

- ・期 間 令和7年10月～令和8年2月 第3土曜日 14:00～16:00
- ・場 所 シビックセンター、みんなの図書室Parket
- ・内 容 高校生と大学生が連携して、子どもに勧める本のブックリストを作成。月に1度のミーティングを実施し、各回のテーマを決めたうえで、子どもたちに勧める31冊の選書を行う。コメントを付けたうえで印刷してブックリストを作成し、高等学校や特別支援学校、大学図書館、公立図書館、書店に配布する。
- ・参加者 高校生9名(4校)、大学生4名

※ミーティングの様子



R6ブックリスト

全国ビブリオバトル予選

- ・日 時 令和7年9月23日(火) 16:00～17:30
- ・場 所 みんなの図書室Parket
- ・内 容 5分間のプレゼンと3分間のディスカッションを通して投票を行う、本の紹介イベント。大学生ビブリオバトルの全国大会予選。
- ・参加者 バトラー4名、観戦者9名



ブックナイトマーケット徳島への出展

- ・日 時 令和7年11月22日(土) 16:00～20:00
- ・場 所 ウッドアイビス
- ・内 容 (ブックマーケットはみんなの図書室Parket、子ども交通公園でも開催) ブックナイトマーケットは本の交換イベント。ウッドアイビス会場では、まちライブラリー・ビブリオラボとくしまが出展して運営を行う。お気に入りの本を持ってきた人が本を紹介した上で、出展者が並べた本と交換。ブックトークを行い、本を通じた交流の場を作る。

《高校教育課作成》

(4) 徳島県中学生・高校生「書評合戦」～TOKUSHIMA BIBLIOBATTLE 2025～

- 1 目的 「徳島県子どもの読書活動推進計画」に基づき、ビブリオバトルをとおして読書活動の魅力を伝え合う。また、読書活動の充実へとつながる「おすすめ本」語り合い活動を普及させる機会とする。
- 2 日時 令和7年11月16日（日）12：30～17：00
開会式、予選・決勝戦、閉会式
- 3 場所 徳島県立総合教育センター（板野郡板野町犬伏字東谷1-7）
- 4 参加者 計90名
発表者 中学生7名／4校 高校生11名／5校
観戦者 学校関係者（教員・生徒・保護者）・一般・メディア54名
来賓・教育委員会18名
紹介本（一部）
『ぎんなみ商店街の事件簿』『アルジャーノンに花束を』『ハサミ男』
『向日葵の咲かない夏』『コーヒーが冷めないうちに』『ライオンのおやつ』
- 5 表彰等 【中学生の部】
徳島市国府中学校2年 山本慎太郎さん
『あと少し、もう少し』（瀬尾まいこ）
【高校生の部】
徳島県立城ノ内中等教育学校5年 田中捺貴さん
『今夜、世界からこの恋が消えても』（一条岬）
*各優勝者は、全国ビブリオバトル決勝大会に推薦。
中学生大会 令和8年3月22日（日）よみうり大手町ホール（東京都）
高校生大会 令和8年2月8日（日）高輪ゲートウェイシティ（東京都）



《成果と課題》

- ・昨年度同様、一般参加可、広報用チラシ、教育委員会 SNS での告知を行い、発表者数は微増したものの、参加者数全体では横ばいだった。
- ・発表者のさらなる参加喚起に加え、参加者数を増加させるための方策を引き続き検討したい。

資料④ 「読書バリアフリー推進事業」について

1 目的

「徳島県読書バリアフリー推進計画」における3つの基本的な施策の方向に基づき、視覚障がい、発達障がい、知的障がい、上肢障がい等により、活字による読書や図書館利用が困難な方々の読書環境を整備・充実させることによって、障がいの有無に関わらず、全ての県民が等しく文字・活字文化の恵沢を享受できる社会の実現に向け、関係機関と連携して事業に取り組む。

2 事業委託先

社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団 視聴覚障がい者支援センター

※厚労省補助事業活用

「地域生活支援促進事業（地域における読書バリアフリー体制強化事業）」

3 事業内容

(1) アクセシブルな書籍等の充実及び製作人材の育成・確保 つくる・そろえる

高等学校での音訳図書製作体験

高校生のための点訳・音訳講習会

音訳図書等の製作を担うボランティアの高齢化及び新規人材の育成が課題となっていることから、高等学校放送部等において、作成したデイジー図書を視覚障がい者等に利用していただくことを目途に、音訳図書の製作体験を実施し、若年者の製作人材育成を図る。

(2) アクセシブルな書籍等の入手及び利用のための支援 つかう

公立図書館等における読書支援機器・バリアフリー図書の利用促進

視覚障がい者等の活字による読書が困難な方々が、読書支援機器や様々なバリアフリー図書を利用して読書に親しむことができるよう、公立図書館等に「デイジー図書再生機器」及び「バリアフリー図書セット」の貸出体制を整備し、広く県民の皆様に体験していただくことで、様々な障がいの方に利用いただけるよう取組を進める。

(3) 読書を支援する環境の充実と人材の養成 ささえる・ひろげる

公立図書館等職員研修

視覚障がい者等が身近な地域の図書館を利用しやすい環境づくりを図るため、公立図書館等職員を対象に、読書支援機器・端末機器の操作方法、障がい特性に応じた読書媒体や支援ツールの知識、サピエ図書館の利用方法等の、障がい者サービスの知識習得のための研修を行うとともに、点字図書館や公立図書館等の連携体制を構築する。

令和7年度「読書バリアフリー推進事業」について

公立図書館等における読書支援機器・バリアフリー図書の利用促進

内容：①デージー図書再生機器の貸出（R4整備）

②バリアフリー図書セットの整備・貸出（R4整備、R5拡充）
音声デージー図書、マルチメディアデージー図書、
点字図書等30タイトル程度を6セット整備

※R5～マルチメディアデージー用のタブレット拡充

貸出対象：公立図書館、学校図書館、特別支援学校等

貸出内容：公立図書館等における展示や体験会等への貸出

公立図書館等職員研修会等への貸出

各学校の授業や「総合的な探究の時間」等への貸出

周知方法：「バリアフリー図書セットチラシ」

「読書バリアフリー啓発ポスター」

※①、②について市町村訪問、学校図書館協議会において、配付及び説明。

【バリアフリー図書セット貸出活用事例】

阿波高等学校への貸出

日時：令和7年8月20日（水） ※説明会・体験会

令和7年9月7日（日） ※阿波高校学校祭（文化祭）

場所：阿波高等学校図書館等

内容：バリアフリー図書についての説明会を実施

学校祭で図書館展（バリアフリー図書展）を開催



・バリアフリー図書についての説明会



・文化祭でのバリアフリー図書展示



北島町立図書館・創世ホールへの貸出

日時：令和8年2月8日（日）

場所：北島町立図書館2階 ハイビジョンシアター

指導者：点訳の会うず、音訳ボランティア「もくせい会」、
視聴覚障がい者支援センター主任支援員

タイトル：「いろんな読書を体験しよう！～読書バリアフリーってなんだろう？～」

内容：点字絵本やデージー図書、触る絵本などでバリアフリー図書を知り、
それぞれのブースで触って体験する。



・デージー図書の説明



・パソコンを使った点訳体験



・音訳体験

高校生のための音訳・点訳講習会

(1) 点訳講習会

- 日時：令和7年8月5日（火）14:00～16:30
場所：あわぎんホール4階 会議室2・3
参加：高校生10名（7校）
講師：視聴覚障がい者支援センター 上原 あい氏
補助員：点訳ボランティア 田幡 玲子氏 遠藤 芳子氏
内容：点字の基礎、点訳のルール、点字盤を使った点字体験など



・点字盤を使った点字体験



・お互いに打った点字を確認

〈参加者の感想〉

- ・点字を打つのは楽しくて、やっていて完成していくのを見て、とてもやりがいや達成感を感じました。
- ・思っていたよりも点訳にルールや規則があることを知り驚きました。またそういったルールを学ぶことで、点字を打つときの意識も変わり、難しくも楽しかったです。
- ・本を手作業で訳すことの困難さを実感しましたが、訳す人の「本を読んで楽しんでほしい」という思いを強く感じました。

(2) 音訳講習会

- 日時：令和7年8月6日（水）14:00～16:30
場所：あわぎんホール4階 会議室2・3
参加：11名（6校）
講師：視聴覚障がい者支援センター 平田 清美氏、原田 早紀氏
補助員：音訳ボランティア 緒方 美保氏
内容：デジタイズ図書について、専用ソフトを使った録音体験など



・専用ソフトを使った録音体験



・県立図書館のバリアフリー図書を展示

〈参加者の感想〉

- ・相手の立場に立ち、自分にできることに注意して録音することが大事だと分かりました。思っていたよりも伝えるために必要なことは多く、驚きました。
- ・大学生になったら、音訳ボランティアに参加したいです。
- ・文字を正確に伝えることの難しさを知ることができました。私は朗読が好きなので、機会があれば音訳のボランティアにもぜひ参加してみたいと思いました。

高等学校での音訳図書製作体験

内 容：録音図書の製作に必要な知識と技術を学び、録音図書の製作を体験する。

実施期間：令和7年12月から令和8年2月までの間

全6回12時間

体験者：阿波高等学校放送部 4名

会 場：阿波高等学校・徳島県立障がい者交流プラザ

講 師：視聴覚障がい者支援センター 平田 清美氏 原田 早紀氏

音訳ボランティア、録音図書利用者

製作図書：原田剛 文・筒井則行 絵『小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスビを売らされました。』（出版 ワイヤーオレンジ）

| | 日 時 | 内 容 | 会 場 |
|---|---------------|------------------------|-------|
| 1 | 令和7年12月17日(水) | デイジー図書について | 阿波高校 |
| 2 | 令和8年1月14日(水) | 録音ソフトの操作方法① | 阿波高校 |
| 3 | 令和8年1月18日(日) | 録音ソフトの操作方法② 録音作業 | 交流プラザ |
| 4 | 令和8年1月21日(水) | 修正作業① 校正作業 | 阿波高校 |
| 5 | 令和8年1月24日(土) | 修正作業② 編集作業 | 交流プラザ |
| 6 | 令和8年2月9日(月) | 録音図書CD製作完了 利用者からの講評 | 阿波高校 |



・録音ソフトの操作方法を学ぶ

・録音作業

・利用者から講評をいただく

特別支援学校での読書バリアフリー推進

期 間：令和7年6月から令和7年9月

場 所：徳島県立国府支援学校図書室

有償ボランティア：図書館サポーター養成講座修了生 原 輝美 氏

講 師：鳴門市図書館サポーター 川上 稚草 氏

内 容：特別支援学校の学校図書館におけるアクセシブルな書籍等の整備、障がいのある児童・生徒が利用しやすい読書バリアフリーの基礎的な環境づくり。



公立図書館等職員研修 年2回開催

① 第1回研修会

日時 令和7年9月19日（金）10:00～15:30

場所 徳島県立21世紀館1階 イベントホール（対面及びオンライン）

内容

- <午前> 講演 『障がい特性について～心のバリアフリー～』
講師 徳島県保健福祉部障がい福祉課 主任主事 藤倉 緋子氏
- <午後> 講演 『図書館における視覚・聴覚障がい者の配慮について』
講師 『視覚に障がいがある方への配慮』
徳島県立視覚支援学校 元教諭 藤本 篤子氏
視聴覚障がい者支援センター主任支援員 阪井 紀夫氏
- 講演 『聴覚に障がいがある方への配慮』
講師 徳島県聴覚障害者福祉協会 理事長 平 光江氏
視聴覚障がい者支援センター主任支援員 芝高 薫氏



② 第2回研修会

日時 令和8年2月13日（金）10:00～15:30

場所 徳島県立障がい者交流プラザ3階 研修室

内容

- <午前> 講演 『鳥取県の読書バリアフリー推進の取組について』
講師 鳥取県立図書館情報相談課 係長 小林 みちる氏
鳥取県ライトハウス点字図書館
情報支援員（読書支援） 山口 祐子氏
- <午後> 意見交換会 『徳島県の読書バリアフリーについて』
アドバイザー 鳥取県ライトハウス点字図書館
情報支援員（読書支援） 山口 祐子氏



【令和8年度に強化していく取組】

- ・公立図書館等におけるアクセシブルな書籍等について紹介するコーナー（りんごの棚等）の設置やバリアフリー図書の展示、体験会等の取組を促進する。
- ・学校図書館、特別支援学校等の教育機関及び公立図書館等へのバリアフリー図書セットの貸出を促進し、アクセシブルな書籍等の種類及び活用方法について広く周知する。